

事務事業チェックシート

事務事業No 368 事業名 がん対策事業(乳がん)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		成人保健対策費	
	大事業		成人保健対策事業	
事項		がん対策事業(乳がん)		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
基本方針	3	成人保健対策の充実

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	IV	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
政策	3	健康都市わかやまの実現
施策	A	若い世代からの健康づくりの推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年		~
事業実施の根拠法令	健康増進法		
関連個別計画	健康わかやま21推進計画		
担当課・担当課長(Tel)	地域保健課	川口 隆弘(488-5119)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	事業内容				
日本人の死因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持をはかるだけでなく、自身の健康管理についての意識の向上をはかる。 乳がんによる死亡は年々増加している。とくに壮年層での部位別がん死亡率では、乳がんが最も多く、働き盛りの女性が乳がんで命をおとしている。これを減少させるために有効な乳がん検診を実施する。	乳がん(集団・個別)検診 ◎集団検診 項目:問診、マンモグラフィ(検診バスの利用) 場所・内容:①保健所、保健センター、和歌山ビッグ愛にて実施(年間20回前後予定)(電話・ハガキによる申し込み) ②胃・肺・大腸がん検診とのセット検診(電話・ハガキによる申し込み) ◎個別検診 項目:問診、視触診、マンモグラフィ 実施場所:和歌山市内の指定15医療機関(うち2機関はマンモグラフィ撮影は別機関で実施) 内容:直接医療機関に申し込んで受診				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40・45・50・55・60歳の対象市民に無料クーポン券を送付 ・40~69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付	・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・平成21~24年度クーポン未利用者に再度無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付	・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・平成25年度クーポン未利用	・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診案内	・乳がん検診の実施(個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知 ・4か月児、1.6か月児健診での周知 ・母子手帳にちらしを同封 ・両親教室での周知 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 ・40歳の女性に無料クーポン券を交付 ・40~69歳の市民にがん検診案内

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	48,791	50,355	40,773	63,923	64,565	62,620	56,512		56,512	
伸び率(%)	-	-	-16.4%		58.4%		-12.5%		0.0%	
人件費	常勤職員	4,085	4,085	3,616	3,616	3,582	3,502		3,502	
	非常勤職員	1,119	1,119	900	900	1,037	984		984	
小計	5,204	5,204	4,516	4,516	4,619	4,486		4,486		
国庫支出金	30,766	10,731	6,205	7,748	7,733	887	444		444	
県支出金		3,312	3,407	2,489	3,532	2,821	3,582		3,582	
市債										
その他										
一般財源(税等)	18,025	36,312	31,161	53,686	53,300	58,912	52,486		52,486	
所要人数	常勤職員	0.54	0.54	0.49	0.49	0.47	0.47		0.47	
	非常勤職員	0.76	0.76	0.61	0.61	0.66	0.66		0.66	
主な予算内訳	報償金41千円、管外出張旅費46千円、啓発委託料488千円、印刷製本費279千円、がん検診委託料40,895千円 等									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値
活動指標 乳がん検診の受診者数	年度目標値									
	実績値	6,942	7,418	7,512						
	単位	人								
	全体目標値									
成果指標 乳がん検診の受診率	年度目標値	50	50	50	50	50				
	実績値	15.4	16.5	16.8						
	単位	%								
	全体目標値	50	33.6%							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	「女性特有のがん検診(子宮頸がん・乳がん)」の初めて対象年齢になった者を実施する無料クーポン配布事業を機会として、がん検診受診の勧奨を強く進めていく。
「見直し」 「改善」案	健康に対する意識向上に努めたい。